

# 研究実施のお知らせ

2026/1/1

## 研究課題名

重症大動脈弁閉鎖不全症と腎機能の関連についての後ろ向き解析

## 概要

慢性腎臓病は、ますます増加する公衆衛生上の問題であり、腎機能障害は心血管疾患および末期腎不全の強力なリスク因子として知られています。重症大動脈弁逆流が腎機能に与える影響はこれまで十分に検討されていません。本研究では大動脈弁置換術を行った重症大動脈弁逆流症の手術前後の腎機能について後ろ向きに解析し、重症大動脈弁逆流が腎機能に与える影響を検討します。

## 研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で 2011 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に重症大動脈弁逆流で大動脈弁置換術を行われたかた。

## 研究の目的・意義

重症大動脈弁逆流において腹部大動脈で観察される全拡張期逆行性血流は特異的な所見であり、大動脈逆行性血流/順行性血流比が高いほど大動脈弁逆流の重症度は高くなります。大動脈逆行性血流は腎動脈の順行性血流を低下させると考えられますが、重症大動脈弁逆流が腎機能に与える影響はこれまで十分に検討されていません。本研究では大動脈弁置換術を行った重症大動脈弁逆流症例の手術前後の腎機能について後ろ向きに解析し、重症大動脈弁逆流が腎機能に与える影響を検討します。

本研究により、重症大動脈弁逆流の手術タイミングにおいて腎機能保護の観点から新しい知見を得ることができると考えられます。

## 研究の方法

研究対象者の電子カルテから得られる情報（年齢、性別、身長、体重、併存疾患、心疾患の家族歴の有無、血圧、脈拍、症状、血液検査、尿検査、12 誘導心電図、心エコー図検査、胸部 X 線検査、合併症の治療、手術所見、入退院時及び退院後投薬内容）を収集し、統計解析を行います。

## 研究期間

本研究は 2026 年 02 月 24 日から 2027 年 3 月までに終了することを予定しています。

## 研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院循環器内科が行います。

参加研究機関

[研究機関]	[研究責任者]
島根大学医学部 内科学第四	山口 一人

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 9 月 31 日までにお願います。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

本研究では研究対象者の識別が不可能な状態でデータを管理・使用し、個人が特定されないよう留意します。この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：山口一人  
島根大学医学部内科学第四  
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1  
電話：0853-20-2249      FAX：0853-20-2201